



湖北

長浜・北びわ湖大花火大会が9月5〜8日の4日間にわたって長浜市の豊公園で分散開催された。新型コロナ禍で混雑緩和のために始まった分散開催だが、警備費削減や宿泊観光促進など幅広い効果が見込めることから今年も継続することになった。

期間中は午後8時半から20分間、琵琶湖沖合に浮かぶ台船から約800発が打ち上げられた。人気アニメ「鬼滅の刃・刀鍛冶の里編」などの音楽をBGMとして打ち上げるミュージック花火が好評で、今年も数を増やした。ほかに戦国武将の浅井長政や豊臣秀吉をイメージした花火、医療従事者への感謝を込めた青い花火などが観客を魅了した。フィナーレでは夜空が金色に染まり、酔いしれた観客から「すごい」など大きな歓声が沸き上がった。



夜空を美しく彩った長浜・北びわ湖大花火大会

長浜

長浜・北びわ湖大花火 800発
長政や秀吉をイメージ

長浜市美術展覧会に243点
ギャラリートークも

「第75回長浜市美術展覧会」(毎日新聞大津支局など後援)が9月に2期に分けて同市大島町の長浜文化芸術会館で開かれ、いずれも入選作243点が展示された。第1期(1〜9日)は彫刻6点、工芸19点、書61点、写真80点。第2期(15〜23日)は日本画19点、洋画58点。最高賞である市展賞に輝いた、日本画Ⅱ長浜市平方町、大野里美さんの「零れ桜」▽写真Ⅱ同市三ツ矢元町、広部修次さんの「花姿」▽工芸Ⅱ同市八幡中山町、林美重子さんの「インドの草木で染めたクリキュラのストール」▽書Ⅱ同市下坂中町、前川利江子



多数的の力作が芸術展覧会

さんの「吟詠」▽彫刻Ⅱ同市湖北高田町、白井洋子さんの「颯爽」などが目を引いた。審査員が入選作の解説や講評をするギャラリートークも各期間中に行われ、大勢の来場者が熱心に話を聞いた。

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東



リニューアルする「ビバシティ彦根」1階センタープラザの完成予想図=平和堂ホームページより

平和堂(本社・彦根市西今町)はJR南彦根駅東口の旗艦店「ビバシティ彦根」を27日、リニューアルオープンする。1996年に開店して以来の全館改修を実施。「プレミアム感のある生活の提案」「親しみやすさにワクワク感をプラス」「三世代が集う地域交流の場」などのコンセプトを掲げている。

1階食料品売り場には店内で焼き上げるベーカリーやフレッシュジュースコーナーが誕生。土産や贈答品のライオンアップも充実する。2階キッズゾーンには子供服やおもちゃ、文房具などを集める。近くに子ども遊び場「まんまるひろば」も設ける。約2万種類の生活雑貨専門店「ロフト」、地元食品も取り扱う「無印良品」、ベルギーチョコ「ゴディバ」、1000点以上が並ぶ「北海道うまいもの館」、子供用品「アカチャンホンポ」などが出店する。

【彦根通信部・伊藤信司】

彦根

「ビバシティ彦根」全館改修
96年の開店以来、27日オープン

彦根市が生理用品バンク
ウィズと市役所で無料配布

彦根市は9月から生理用品バンク「ひこねスマイルプロジェクト」に取り組んでいる。防災用備蓄品や寄付された生理用品を、経済的に苦しむ女性たちに配布している。彦根市平田町の市男女共同参画センター「ウィズ」(0749・24・3529)、または市役所4階の女性活躍推進室(0749・30・6101)で1パックを受け取れる。窓口に掲示している同プロジェクトの案内表示に写真Ⅱを指さすか、スマートフォンなどで同プロジェクトの画像を提示する。メーカーの使用推奨期間を超過したものもあるが、理解した上で利用してほしいと呼びかけている。またこれらの窓口では生理用品の寄付も受け付けている。未開封のものをパック単位で寄付する。ウィズは火曜と日祝日、市役所は土日祝が休業。

【彦根通信部・伊藤信司】